

行田 歴史系譜 290

歴史を語るこの「いっぴん」
博物館の収蔵庫から

26

酒巻村年貢割付状、村に宛てた年貢の請求書

行田市郷土博物館所有

江戸時代の年貢は、領主から村に宛てて請求され、村が納入の責任を負いました。村では名主が各農民から年貢を集め、領主に納入しました。この仕組みを村請制といいます。

江戸幕府は慶長12年（1607）から14年にかけて、忍領で検地を行いました。担当したのは幕府の代官頭伊奈忠次や代官大河内秀綱たちです。検地は土地の面積を測り、生産量により上田、中田、上畑、下畑といった等級と土地の耕作者を確定させ、その内容を検地帳に記載します。検地により領主は土地の情報を正確に把握できるとともに、土地の生産量に見合った年貢を賦課することができま

す。これに一反あたりに徴収する年貢の量を掛けていきます。例えば、酒巻村では上田が8町7反8畝11歩あり、このうち用水や井戸に転用し耕作不能となった8反4畝3歩を引いた7町9反4畝8歩に、1反当たりの取米9斗1升を掛けると、上田の年貢は72石2斗7升8合となります。この作業を他の等級の土地にも行っていきます。畑には米ではなく銭を賦課しますが、算出方法は同じです。これらを合計し、そこから村が出した人足を相殺するなどして出した米131石8斗6升2合、銭53貫546文がこの年の酒巻村の年貢となります。さらに納入期限と間に合わなかった場合は処罰する旨が書かれています。

写真の年貢割付状は酒巻村に宛てて出されたものです。発行者は幕府代官の大河内久綱と深津貞八です。検地で決められた土地の等級ごとの面積から、その年に耕作ができた



酒巻村宛年貢割付状（慶長16年）

忍領の年貢徴収のシステムは幕府領時代に整えられ、寛永10年（1633）に松平信綱が藩主となり忍藩が成立した以降も踏襲され、明治維新で年貢割付状の発行が停止されるまで250年以上も続きました。

（郷土博物館 鈴木紀三雄）

特定非営利活動法人 運動器疾患総合研究所

少子高齢化などの社会変化の中、運動器疾患・機能全てに関する保健福祉およびスポーツ文化に対する事業を通じて、地域社会の活性化に寄与しているのが特定非営利活動法人運動器疾患総合研究所です。

主な活動の一つであるスポーツ障害予防教室では、理学療法士と健康運動指導士が中心となり、ストレッチや簡単なエクササイズなどの予防とコンディショニングの正しい知識を教えています。小学生から高校生までの野球選手の他、指導者や保護者なども参加しており、けがの防止に役立っているそうです。

また、近年テレビなどでも話題となっている高尿酸素カプセルは、疲労回復などに効果があり、他のスポーツ選手も含め性別や年齢を問わず多くの方が利用されているそうです。

今後はさらに、障害者や要介護者の通院や外出を援助できるよう福祉有償運送（移送サービス）にも力を入れていくとのことで、医療と介護それぞれの専門職が手掛ける「予防」のための活動に、期待と注目が高まります。

【代表理事】石井 義則 【電話番号】555-3519（石井クリニック内）

つながる ひろがる みんなのチカラ

～市民公益活動団体紹介～⑰



人気の高尿酸素カプセル

今月の表紙

4月1日、古代蓮の里をメイン会場に陸王杯第34回行田市鉄剣マラソン大会が開催されました。

今年は、TBSテレビ日曜劇場『陸王』の放映の効果もあり、前回よりも約800人多い3,905人が出場。10キロメートルの部およびハーフの部に出場した選手たちは、満開の桜が咲き誇るさきたま古墳公園のコースを駆け抜けながら、行田の春を満喫している様子でした。

- 市報ぎょうだに掲載されているあなたの写真を差し上げます。ご希望の方は、広報広聴課広報広聴担当（内線318）まで。
- 市民の皆さんの市政に対するご意見をお待ちしています。
- 市報をダイジー版に録音したものを希望者宅にお届けします。ご希望の方は、広報広聴課広報広聴担当（内線318）までご連絡ください。



市報ぎょうだは再生紙を使用しています